

敬 愛 (けいあい)

学校教育目標

一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒の育成を図る

甲斐市立敷島中学校
編集 校長 山本成利

ひとりひとりちがって生まれる・・・ひとりひとりちがっていい



<生徒の感想>

☆私は、今日の授業で「想像力」の大切さを学びました。能登半島地震の話は、最近起こったことでニュースなどでよく目にしていたので、自分にとっては身近な話だと思って聞いていました。だから、人のために行動して誰かの命を救う人たちと、自分のためだけに行動して、被害にあった家に空き巣に入る人の決定的な違いは「想像力」の有無だという話に納得しました。これからも「想像力」を大切にして生きていきたいと思います。(2年1組 窪田結月さん)

☆「想像力」の大切さについて深く考えることができました。「ひとりひとりちがっていい」と言ってくれたので、自分の考えを自信を持って言うことができました。また、友だちと話す時間を多くとってくださったので意見の共有ができて楽しかったです。私たちのクラスをほめてくださり、本当にうれしかったです。これからもさらに想像力を大切にしていきたいと思います。(2年1組 渡邊歌音さん)

☆今日は、菊池先生の授業を受けることができ、ものすごくうれしかったです。菊池先生とお会いできるのは2回目で、また会えてすごく光栄です。そして、菊池先生の話を知ると、ものすごく心が変わるので、また聞きたいです。「人生は喜ばせごっこ」から優しさ、そして相手に対する思いやりが大切だということがわかりました。今日は、最高の授業をしていただき、ありがとうございました。(1年2組 三井龍之介さん)

☆今日の授業でとてもいいと思ったことを2つ書こうと思います。ひとつ目は、何も気にせずに発言できる雰囲気だったところです。私は発言をするのが苦手なのですが、今日の授業ではあまり周りを気にせずに発言ができました。二つ目は、小さなことでも指の骨が折れるくらい拍手をしていたところです。みんなが拍手をしてくれると、自分の発言を認めてくれたんだなとわかるので、これはこれからも続けていけたらいいと思いました。この2つを続けていけば今よりも、もっといいクラスになると思います。(1年2組 西山杏美さん)

☆私は部長をやっています。ミーティングをよく行います。私の言葉一つ一つ、抑揚の付け方、表情など少し違うだけで、みんなの返事が変わるんです。なので、私も日頃から、言葉の大切さについて考えていました。今回の授業を受けて、その場にあった言葉の使い方で、みんなをまとめられるように頑張りたいと思いました。また一つの言葉で、誰かが、時には私自身が傷つくことがあります。よく考えて発言したいと思いました。(3年4組 池谷心音さん)

☆僕たち、3年4組に素晴らしい授業をしていただき、ありがとうございました。すごい先生だと聞いて、前日からワクワクしていました。ワードセンス、言葉の使い方を学ぶ授業の中で、先生の話やクラスの人一人一人違う意見を聞いて、自分には考えられなかったものを得ることができました。先生がおっしゃっていた、よいクラスになるには、ワードセンスを磨き上げることが大切、これから様々な行事があるので、みんなでうまく言葉を使って、クラスで協力・団結して乗り越えていきたいと思います。これからも「ワードセンス」を大切にしていこうと思います。(3年4組 保坂悠太さん)

5月20日（月）に菊池省三先生を招き、1年2組、2年1組、3年4組で、菊池先生に道徳の師範授業をしていただきました。本校の教職員だけでなく、甲斐市内の小中学校の先生方にも声をかけ、その示範授業を参観させていただきました。全国で“ひっぱりだこ”の菊池先生の授業を、「世界で一番受けたい授業」を受けることのできる幸運！3つのクラスの生徒は、菊池先生の温かくほめて認めてくれる言葉かけに、意欲的に、主体的に授業に取り組んでいました。放課後は先生方（市内の小中学校の先生方も一緒に）との研究会を行いました。ここでも私たち教職員に、たくさんの素晴らしい学びを提供してくださいました。「対話・話し合いが生まれる教室をつくり出すためにちょっと心がけておきたいこと」というテーマで、菊池先生は私たちに話しをしてくれました。情報ツールあふれる時代に生きる子どもたちに、自分に自信を持ち、互いに協力しながら「自分らしさ」を大切に、しなやかにたくましく歩いていく力を身に付けさせるためには、どうしていったらよいかを学ぶ貴重な機会となりました。日常のコミュニケーションの大切さ、対話につながるフリートークの重要性、「ほめる」を意識した教育など、たくさんの指導をいただきました。私たち教職員のこれからの指導や授業へ活かしていきたいと思います。

【菊池省三先生紹介】

1959年愛媛県生まれ。全国ネット「菊池道場」主宰。元福岡県北九州市公立小学校教諭。小学校教師として「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」「白い黒板」などの教育実践。NHKのテレビ番組「Professional仕事の流儀」で「未来をつかむ、勝負の教室」に出演。さらに日本テレビ「世界一受けたい授業」にも出演。全国的に大きな反響を得る。文部科学省「熟議に基づく教育形成の在り方に関する懇談会」委員などを務め、小学校退職後は新時代の教育を目指し執筆、講演活動中です！昨年度に引き続き、来校いただきました。今回も素晴らしい学びの時間を与えてくださいました。感謝しかありません。

挑戦した経験の積み重ねは将来きっと役に立つ

先週までの家庭訪問、そして昨日27日（月）は、敷島地区小中合同避難訓練（引き渡し訓練）にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度は、敷島小学校に弟妹がいる生徒については、敷島小学校の方で、弟妹と一緒に引き渡しをさせていただきました。今年1月1日に起こった能登半島地震は、まだ記憶に新しいところですが、自然災害の猛威を私たちは痛感することとなりました。改めて有事への日頃からの備えの大切さを感じています。校庭への一次避難の様子、引き渡しのために敷島小へ移動する生徒の移動時の様子、校庭での引き渡しの様子などしっかりとできており、たいへん有意義な訓練となりました。保護者の皆様方、ご協力ありがとうございました。

いよいよ明日29日（水）に本年度初の定期テストが実施されます。一年生にとっては初めての定期テストですから緊張もしますよね。中学生ともなるとテストを受ける機会が増えます。確かに試験を受けることはしんどいことではあります。でも試験や部活動の試合にしても、これはみなさんの実力を試す、絶好の機会です。将来、みなさんが羽ばたいていく社会は矛盾の多いところですよ。みなさんがその社会にでて困難に出会ったとき、それを自分自身の力で、一つ一つ解決していかなければなりません。そのようなときに、日頃から小さなチャンスに挑戦し、困難を打開する経験を積み重ねていくことはどれほど役に立つかわかりません。

テストに対する姿勢には、私は2つあると思います。一つは**テストから逃げようとする姿勢です**。「テストは嫌だ。この世からテストなどなくなればいいのに。」と言って逃げようとする人もいます。もう一つは、**テストに真っすぐに立ち向かっていく姿勢です**。何か試験にぶつかったときに、あなたは逃げますか？それとも真正面からぶつかっていきますか？もちろん、全力で体当たりして取り組んでいくでしょう。それが正しい姿勢です。年に数回ある定期テストだけでなく、部活動やクラスのこと、友人関係のことなど、いろいろな問題に直面したとき、知恵と勇気をふりしぼって解決にあたってください。「問題解決力」・・・、これから社会にでたときにどれほど大な力になるかわかりません。そういう意味でもテストに真正面から立ち向かい、社会に出て大きな仕事を成し遂げる人になってほしいと願っています。テストに挑戦した経験は将来きっと役に立ちます。頑張りましょう！

